

江戸東京博物館 リニューアル 墨田区教育旅行座談会(13面から)



(写真右から)墨田区の山本区長、江戸東京博物館の藤森館長、墨田区観光協会の森山理事長が握手

教育旅行の誘致について山本区長のお考えは、山本区長 多くの修学旅行生に墨田区を訪れていただくことは、本区にありたいことです。今回の江戸東京博物館のリニューアルは、修学旅行の学びのコンテンツとして大きな意味を持ちます。博物館の中を回遊しながら、江戸・東京の姿に触れ、その姿を体感する体験は重要な学びとなるはず。

山本氏 オールすみだで誘致

藤森氏 質の高い鑑賞、学びを

森山氏 街でリアルな体験も

江戸東京博物館の教育旅行への対応は、藤森館長 教育旅行には多くの学びがあります。江戸東京博物館は、その歴史や文化を伝えるだけでなく、現代の都市や生活も取り入れています。また、墨田区には多くの伝統工芸や職人の技があり、これらを体験できるのは大きな魅力です。墨田区観光協会の森山理事長は、墨田区を訪れていただくことは、本区にありたいことと語っています。

山本区長は、多くの修学旅行生に墨田区を訪れていただくことは、本区にありたいことと語っています。今回の江戸東京博物館のリニューアルは、修学旅行の学びのコンテンツとして大きな意味を持ちます。博物館の中を回遊しながら、江戸・東京の姿に触れ、その姿を体感する体験は重要な学びとなるはず。

藤森館長は、教育旅行には多くの学びがあります。江戸東京博物館は、その歴史や文化を伝えるだけでなく、現代の都市や生活も取り入れています。また、墨田区には多くの伝統工芸や職人の技があり、これらを体験できるのは大きな魅力です。墨田区観光協会の森山理事長は、墨田区を訪れていただくことは、本区にありたいことと語っています。

森山理事長は、墨田区を訪れていただくことは、本区にありたいことと語っています。今回の江戸東京博物館のリニューアルは、修学旅行の学びのコンテンツとして大きな意味を持ちます。博物館の中を回遊しながら、江戸・東京の姿に触れ、その姿を体感する体験は重要な学びとなるはず。

東京スカイツリー 街歩きと非公開エリア案内

学校団体向けにプログラム



東京スカイツリー

東武タワーススカイツリー(東京都墨田区)が運営する東京スカイツリーは、学校団体向けに教育旅行プログラムを提供している。その一つが、墨田区の街歩き体験をセットにした「東京スカイツリー塔体見学ツアー」だ。専用ガイドの見学ツアーは建設前の「すみだ」が歩んできた東京下町の歴史を学ぶことができる。併せて、3万7千個の鉄骨で建築されたスカイツリーの非公開エリア「西側」を案内する。

キャリア学習プログラム



2026年6月からは新しいプログラム「キャリア学習プログラム」をスタートする。日本を代表する企業の現役社員が講師を務め、企業の取り組みを通じて「社会の連携、協働による教育の実践」につながる。

墨田区は「大空」「空襲」を経験し、度重なる消滅の危機と復興を乗り越えてきた歴史が残る。「ツアー」を通じて地域の歴史を学ぶことで、展望台から見える景色がまったく別に見え方に変わる。「西側」ツアー終盤には非公開エリアの「西側」に、当時の最先端技術の結晶で建築されたスカイツリーの構造を最もダイナミックに感じられる特等席に入場できる。伝統工芸の体験学習プログラム「西側」は、すみだマイスター認定の伝統工芸師を講師に招き、江戸から受け継がれる伝統的な技術を、この体験ならではの視点で学ぶことができる。体験学習では、あまり知られていないスカイツリーの環境への取り組みも紹介。企画に携わる東洋大学国際観光学部が学生が体験サポートとして活躍している。



収蔵品を活用した空間演出で鑑賞体験を高める(イメージ)



大型模型も新設、リニューアルした

江戸東京博物館(愛称・エドト)は、江戸・東京の歴史と文化を振り返り、未来の都市と生活を考える場として、1993年3月に開館。初めの大規模な改修工事に約4年をかけ、現した新規模の展示を3月31日にリニューアル展示している。

江戸東京博物館

団体見学6月2日から 予約の受付スタート

リニューアルでは、「東京のアイコン」となる博物館を再構築し、日本建築家、重松象平氏がパートナーを務める世界的建築設計事務所OMA(OoRie for Metropolitan Architect)と共に館内外の空間デザインを進めた。1階西側からのアプローチに「鳥居」をモチーフとした

HELLO! EDO-TOKYO MUSEUM

2026.3.31 えどはくリニューアル

新しい時代の はじまりはじまり。

江戸東京博物館 EdoTokyo MUSEUM

本物が生きる街すみだ 墨田区教育旅行プログラム

ガイドツアー

伝統工芸体験 商店街体験 伝統工芸体験

◆特長◆

- 豊富なコンテンツから選択可能
- 面倒な手続きをすべて「一本化」
- 各体験コンテンツの空き状況の確認、お支払いなどの手続きを墨田区観光協会がまとめて行います。
- 教育旅行ご担当者様の負担を軽減する
- 万全のサポート体制を整えています。

◆教育旅行プログラム◆

- ものづくり体験(伝統工芸・産業体験)
- 商店街体験(販売・PR活動)
- まち歩きガイドツアー(歴史・相撲・平和学習)
- 講義(観光・産業・相撲)、企業見学

教育旅行担当の先生や旅行会社様をサポート

墨田区観光協会にて一本化!

空き状況 会場手配 当日設営 支払精算

一般社団法人 墨田区観光協会 教育旅行担当

電話 03-6657-5160 (平日10時~17時)

Eメール tour@visit-sumida.jp

住所 東京都墨田区東向島 2-8-5